



環境活動レポート



株式会社ホクノー
2025年11月1日
(対象期間 2024年8月1日～2025年7月31日)



1. 会社概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社ホクノー 代表取締役社長 野地 秀一

(2) 本社所在地

〒004-0014 北海道札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：取締役管理部長 鈴木 和敏（連絡先 TEL：011-897-2012 FAX:011-897-2046）

(4) 事業の内容

食品小売、雑貨書籍販売および不動産、公園施設の管理、飲食

(5) 事業の規模（主要製品の生産量・出荷額・従業員数、事業所の延べ床面積等）

活動規模	単位	令和6年度
売上高	百万円	売上規模（2,864）
従業員	人	8h換算123人（総人数198人）
床面積	m ²	4,099

(6) 環境活動の対象期間と発行日

対象期間：令和6年度（2024年8月1日～2025年7月31日） レポート発行日：2025年11月1日

(7) 対象事業所一覧

① 本社	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
② 中央店	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
③ 新札幌店	：札幌市厚別区厚別中央1条6丁目
④ 厚別5条店	：札幌市厚別区厚別中央5条6丁目
⑤ 厚別東2号店	：札幌市厚別区厚別東2条4丁目
⑥ もみじ台南店	：札幌市厚別区もみじ台南6条1丁目
⑦ もみじ台ショッピングセンター直営店（リビングもみじ台、だいいち）	：札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2
⑧ 牛角ウエスタンパワーズ店	：旭川市永山12条3丁目
⑨ ホクノー園	：札幌市厚別区下野幌2006番地

2. 環境経営方針

基本理念

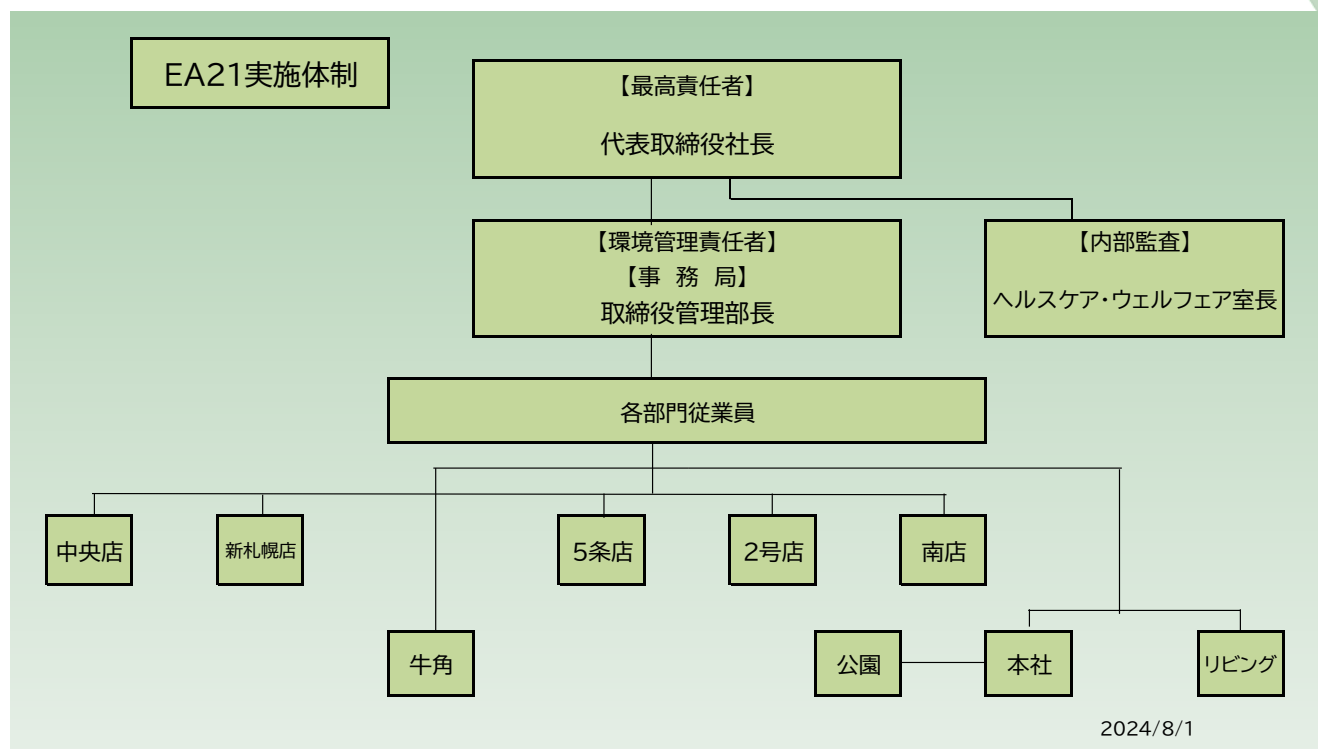
私たちは、お客様の豊かな暮らしを創造するために、安全・安心な商品・サービスを提供するとともに、地域社会の一員として地球環境に関する責任を厳粛に受け止め、企業活動と環境との調和を図り、環境汚染の防止、資源の有効利用に継続的に取り組み、より良い社会の実現に努めて参ります。

基本方針

- (1) 環境に関する法律、規制及びその他要求事項を遵守します。
- (2) 地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- (3) 水使用量の削減など省資源に努めます。
- (4) 食品廃棄物の抑制とリサイクルに取り組みます。
- (5) 環境に配慮した商品の販売、環境に配慮した店舗運営に努めます。
- (6) この方針を従業員に周知徹底し、定期的な見直し、継続的な改善を行います。

2021年8月1日
株式会社ホクノ
代表取締役社長 野地 秀一

3. 組織体制



4-1. 令和6年度からの中期環境目標

項目	単位	R05年度(基準年度)	R06年度目標	R07年度目標	R08年度目標
CO2排出量	kg-CO2	1,046,048	1,035,587	1,025,231	1,014,978
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
水使用量	m ³	5,878	5,819	5,760	5,702
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
一般ごみ排出量	kg	46,203	45,740	45,282	44,829
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
食品廃棄物排出量	kg	18,916	18,726	18,538	18,352
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
コピー用紙使用量	kg	851	842	833	824
			前年比-1.0%	前年比-1.0%	前年比-1.0%
レジ袋辞退率	%	91.0	91.0	91.0	91.0
			前年維持	前年維持	前年維持

- ・ 令和5年度 二酸化炭素総排出量 1,046,048.54kg
(温室効果ガス排出係数：北海道電力(株)0.535kg-CO2/kWh・(株)エネット0.325kg-CO2/kWh)
- ・ 食品リサイクル率 基準実施率 85.4%(令和5年度実績)
内 訳： 発生量 18,916kg (100%)
再生利用量 16,160kg (85.4%)
再生利用等以外(焼却) 2,756kg (14.6%)

4-2. 令和6年度 of 取組と実績評価

(1)CO2排出量を毎年1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	1,035,587	1,025,231	1,014,978
(修正目標)		1,188,613	
実績(kg)	1,200,619		
目標比(%)	86.3%		
評価	未達		
取組内容	・調光可能な照明設備の調光を継続する。 ・飲料等の冷蔵ケースの一定時間の電源オフを継続する。 ・老朽化した冷凍・冷蔵設備、照明設備を更新し、使用電力量削減に努める。		
実績評価	・節電により電力使用量5%以上削減、ガソリン使用量も16%以上削減するなど、エネルギー使用量の削減に努めたが、使用電力の85%を占める新電力の二酸化炭素排出係数(kg-CO2/kwh)が、前年の0.325から0.432へ大幅に増加した影響が大きく、全体の二酸化炭素排出量が大幅に増加した。		
令和7年度の取組	・引続き、調光可能な照明設備の調光を継続する。 ・飲料等の冷蔵ケースの一定時間の電源オフも継続する。 ・老朽化した冷凍・冷蔵設備の店舗を閉店する。		

4-2. 令和6年度の実績と評価

(2) 水使用量を毎年1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(m³)	5,819	5,760	5,702
(修正目標)		5,751	
実績(m³)	5,809		
目標比(%)	100.2%		
評価	達成		
取組内容	・朝礼等で節水について繰り返し教育を図り、更に徹底を図る。 ・節水器具等の活用により、節水について更に改善を図る。		
実績評価	・節水意識が定着、前年同期比の使用量を大きく上回っている店舗が無かった。		
令和7年度の実績	・引き続き、朝礼等で節水について繰り返し教育を図り、更に徹底を図る。 ・節水器具等の活用により、節水について更に調査・改善を図る。		

(3) 一般ごみ排出量を毎年1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	45,740	45,282	44,829
(修正目標)		43,599	
実績(kg)	44,039		
目標比(%)	103.9%		
評価	達成		
取組内容	・一般ごみの分別基準を改めて社内に周知、再生可能な資源ごみの焼却を減少させるよう、更に分別を徹底する。 ・手洗では可能な限りジェットタオルを活用、ペーパータオル使用減少に努める。		
実績評価	・リサイクル可能なゴミの分別を徹底、僅かではあるが一般ごみ排出量を削減した。		
令和7年度の実績	・従業員も入れ替わっていることから、一般ごみの分別基準を今一度社内に周知徹底し、再生可能な資源ごみを焼却をしないよう、更に分別を徹底する。		

4-2. 令和6年度の取組と実績評価

(4)食品廃棄物排出量を毎年1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	18,726	18,538	18,352
(修正目標)		18,442	
実績(kg)	18,628		
目標比(%)	100.5%		
評価	達成		
取組内容	・スーパーの惣菜部門は、製造計画精度向上と発注量適正化、管理徹底により削減を図る。 ・令和5年度再生利用率は、85.4%と食品リサイクル法に基づく食品小売業の2024年までの再生利用等実施率目標値60%を大幅に上回っているが、令和4年度の89.3%を下回る結果となり、焼却処分としている旭川市の飲食店食品廃棄物発生を増加させないよう、管理徹底に努める。		
実績評価	・主に中央店の惣菜部門の管理徹底により、生ゴミ発生量を削減した。		
	※令和6年度の食品廃棄物再生利用率は、84.4%で全て飼料化されている。		
令和7年度の取組	・スーパーの惣菜部門は、製造計画精度向上と発注量適正化、管理徹底により削減を図る。 ・焼却処分としている旭川市の飲食店食品廃棄物発生を減量させるよう、管理徹底に努める。		

(5)コピー用紙使用量を毎年1.0%削減

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(kg)	842	833	824
(修正目標)		739	
実績(kg)	746		
目標比(%)	112.9%		
評価	達成		
取組内容	・紙ベースの会議資料等削減の徹底を図る。 ・令和5年10月から実施の「インボイス制度」に伴う請求書様式の変更により、書類の印刷が増加しているが、印刷の必要性見直しにより、削減を図る。		
実績評価	・取組方針を徹底、経理システムの変更に伴う印刷物を見直し、使用量の減少となった。		
令和7年度の取組	・紙ベースの会議資料等印刷の必要性見直しにより、削減の更なる徹底を図る。		

4-2. 令和6年度の取組と実績評価

(6) レジ袋辞退率91%を維持

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(%)	91.0%	91.0%	91.0%
(修正目標)			
実績(%)	91.3%		
目標比(%)	100.3%		
評価	達成		
取組内容	・プラスチックごみ減量のため、引き続きマイバッグ持参を呼びかけ、レジ袋辞退率の向上に努める。		
実績評価	・マイバッグ持参の呼びかけの影響等で、0.3%と僅かながら辞退率を上げることができた。		
令和7年度の取組	・プラスチックごみ減量のため、引き続きマイバッグ持参を呼びかけ、レジ袋辞退率の向上に努める。		

5. 環境に配慮した商品として、ラベルレスの飲料水・乳酸菌飲料等の販売に努めた。

6. 2017年11月から中央店2階に「ホクノー健康ステーション」を開設、健康寿命を延ばすために、超高齢社会となった地域と連携した取組を実施継続中である。

7. ホクノー園についての環境負荷は微量である。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 罰則、行政指導に関わる義務規程について、違反及び関係機関から指摘はなかった。
また、訴訟等もなかった。以下に遵守している主な環境関連法規制を示す。

法律等の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適合
事業系一般廃棄物の扱い(札幌市、旭川市)	適合
消防法	適合
札幌市火災予防条例	適合
容器包装リサイクル法	適合
厨房排水における札幌市、旭川市からの指示	適合
フロン排出抑制法	適合
札幌市生活環境の確保に関する条例	適合

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 環境経営方針の見直し

2021年度環境経営方針について見直しを実施、環境目標の達成状況を踏まえ今年度も継続とし、E A 2 1 認証活動を通じて環境経営方針に基づく環境目標達成のための役割分担徹底を図ることとする。

(2) 環境目標及び活動計画の達成状況

令和6年度は、2017年版ガイドラインに沿った形で見直した新たな中期計画の1年目であった。環境目標については、前年度同様6項目中5項目で目標達成となった。

- ① 「CO₂排出量1.0%削減」は、継続的に照明設備の調光や大規模施設の照明の一部間引き、飲料水等冷蔵ケースの電源オフや一部老朽化した冷凍・冷蔵設備や照明設備を更新し、電力使用量を5%以上削減したが、大型施設で使用している新電力の二酸化炭素排出係数(kg-CO₂-/kwh)が前年の0.325から0.432へ大幅に増加した影響が大きく、全体の二酸化炭素排出量が大幅に増加した。
- ② 「水道水利用量の1.0%削減」は節水意識が定着し、目標達成となった。
- ③ 「一般ゴミ排出量1.0%削減」は、これまで感染防止のためのペーパータオル大量消費が続いていたが、ジェットタオル使用復活、リサイクル可能なゴミの分別徹底と再資源化への意識付け図り、目標達成となった。
- ④ 「食品廃棄物排出量を1.0%削減」は、主にスーパーの惣菜部門の製造計画と管理徹底により、前年対比1.5%削減、目標達成となった。
- ⑤ 「コピー用紙使用量1.0%削減」は、紙ベース資料出力の必要性見直しにより削減し、前年比約13%と大幅削減となり、目標達成となった。
- ⑥ 「レジ袋辞退率91%を維持」は、引続きマイバッグ持参の呼びかけを継続し、91.3%と僅かながらレジ袋辞退率を増加させることができ、目標達成となった。

エコアクション21認証18年目となる次年度、引き続き法令遵守、地域貢献を念頭に行動していく。特に高齢化社会における地域環境の保全を考慮したい。

(3) 環境目標の見直し

2017年版ガイドラインに沿った形で見直した新たな3年中期計画の1年目実績に応じて、環境目標について一度見直しを実施した。

環境負荷軽減活動は、企業経営の効率向上と経費削減に直結することから、今後も引続き生産性向上など経営課題解決を図る一つのチャンスと捉えて行きたい。

(4) 環境システムの実施体制

現状、環境活動計画について、各拠点における管理者、従業員の意識が最も重要と考えることから、会議等でPDCAサイクルに基づき、計画を明確にして着実に遂行するため、実施体制に変更の必要性はないと考える。